

メルハバトルコ

令和6年 3月
イスタンブル日本人学校
本間 和寛

なかのくちにししょうがっこう
中之口西小学校のみなさん、Merhaba! (メルハバ) トルコ語で「こんにちは」という意味です。トルコのイスタンブル日本人学校で働いている本間和寛です。もうすぐ卒業式ですね。あっという間の6年間であったと思います。今回の「メルハバ!トルコ」は最終号! 「ぼくがトルコで出会った人たち」についてお伝えいたします!

とも はたらくなかま 共に働く仲間たち

な ばしょ せいかつ はたら
慣れない場所で生活し、働いていくのはとても
むずか 難しいものでした。しかし、一緒にトルコにやっ
てきたせんせいがた せんぱいがた ささ くらくの こ
先生方や、先輩方に支えられ、苦楽を乗り越
えながらなんとか3年間勤めることができました。
かぞく つ あ おお りょこう い
家族ぐるみの付き合いも多く、旅行に行ったり、
か もの い かけがえのない仲間ができました。



トルコ人スタッフや、現地在住スタッフが親身になって協力してくれました。一緒にサッカーをしたり、スクールバスドライバーさんの結婚式に出席したりしました。

トルコで活躍する日本人



トルコに住む日本人は1700人ほどです。日本人が一番多く住んでいる外国はアメリカですが410000人以上なので、非常に少ないことがわかります。それでも、様々な企業が進出し、そこで活躍する日本人がいます。左の写真は、日本人が作ったソフトボールチームの様子です。様々な年齢、職業の人たちが毎週集まって、打って投げて楽しくボールをおいかけています。いろいろな人たちと話すことは素晴らしい経験になりました。

右の写真は、同年代の仲間たちで作ったグループです。生まれも育ちも全く違うメンバーですが、同年代というだけで意気投合し、心ゆくまで語明かしました。とても楽しい時間を過ごすことができました。



海外に出て感じたこと

海外旅行どころか、飛行機にも乗ったことが無いぼくがイスタンブール日本人学校に赴任して3年が経ちました。辛いことも楽しいこともたくさんありましたが、今振り返ると充実した3年間であったと思います。

最後に、海外に行こうと決めた理由と、来てよかったと思った理由をお話します。

海外に行こうと決めた理由は、みなさんに「目で見たこと」を伝えられたからです。教科書、新聞、テレビにネット、様々な方法でかなり詳しく外国の情報を得ることはできます。でもぼくは、学校の先生として、実際に自分が体験して感じたことをみなさんに伝えられたのです。

来てよかったと思った理由は、少し説明が難しいのですが、遠い外国にも、ぼくたちと同じように、雨が降れば舌打ちをしたり、お気に入りのサッカーチームが勝って上機嫌だったりするような普通の人々が生きているということを実感できたからです。例えば今までのぼくなら、ニュースで「外国でテロがあり、〇〇人亡くなりました。」と知らされても、悲惨な出来事なのはわかりますが、被害者の一人一人にぼくたちのような普通の生活があったということまで思いを巡らすことはできなかったと思います。そういう点で、海外赴任はぼくの視野を広くしてくれました。



次は日本で
会いましょう！

早くご主人に
会いたいワン…

